

第7期(2026/4-2026-9)

～こどもポートフォリオ委員会～
活動方針・体制



福祉・教育・保健などの行政の記録や、
民間の記録、家庭の思い出などの情報を、
こども自身が「人生の資産」として保有できる仕組み
(仮称:こどもライフ・ポートフォリオ)

ができることで、より一層、「こどもまんなか社会」の実現が近づくと考えています。

制度やシステムの課題により実現できていないこの現状を、
こどもDX推進協会の集合知で乗り越えていきませんか。

その解を皆さまとともに創り上げたいです。

ご参加いただく会員企業様の 「プロダクトの価値向上」や「新たなビジネス領域の拡大」につながる枠組みをともに探求します。

【1. 当分科会に参加する企業メリット(めざす姿)】

- ・会員企業様のプロダクトの付加価値向上: 行政との連携シナリオを描くことで、既存サービスの価値を高める知見を得る。
- ・新規事業・ビジネス領域の拡大: 教育・保育・福祉など、隣接する領域への事業展開の足がかりを掴む。
- ・ルールメイクへの参画: データ連携の「標準」をともに議論することで、将来の市場における競争優位性を確保の準備をする。

【2. 初期フェーズでの検討 (起点として)】

いきなり全体像を作るのではなく、**まずはユースケースの議論からスタート**します。

【3. 初期フェーズでの活動内容(調査・議論すること)の例】

会員企業様・自治体様がそれぞれの領域で価値を創出していけるよう、皆様の関心事をもとに具体化します。

- ・連携を阻む「課題」の調査
個人情報保護や「本人の同意取得」など、データ連携のハードルとなる制度的・技術的課題の整理。
- ・持続可能なエコシステムの議論
「どうすれば企業側にもメリットが還元されるか」、ビジネスが成立するデータ連携の枠組みの議論。
- ・実証(PoC)に向けた青写真づくり
提言で終わらせず、社会実装に向けた小規模な実証実験の「方向性」の定義。

社会実装に向け、弊社の技術と、こどもDX推進協会の皆さまが持つ「技術・アセット」の掛け合わせが原動力に！



サービスを通じて蓄積された
実データ



学術的知見・
産学連携ネットワーク



現場の業務フローや
システムに関する専門知見



プライバシー保護・
セキュリティ技術



実証実験(PoC)に向けた
フィールド・顧客基盤

etc……

まずはご意見交換から、ぜひよろしく申し上げます！

委員長	古谷 隆行（株式会社日立製作所 担当部長）		
副委員長	高石 尚和（キッズコネクト株式会社 代表取締役）		
メンバー	<p>未定。 ※6月上旬に実施するWG後に正式決定予定。 現時点で参加を希望/検討している企業は以下の通り。</p> <table border="0"><tr><td data-bbox="504 587 1193 1057"><p>【参加希望】</p><ul style="list-style-type: none">• 株式会社MJ• 獨協大学 和田教授(アドバイザー)• 株式会社フォトクリエイト• 吉竹福祉会• 株式会社コドモン• 株式会社NTT西日本• ユニファ株式会社</td><td data-bbox="1193 587 1686 1057"><p>【参加検討中】</p><ul style="list-style-type: none">• 株式会社ファーストアセント• NTTデータ経営研究所• 社会福祉法人あけぼの福祉会 なでしこ森のこども園• 株式会社両備システムズ</td></tr></table>	<p>【参加希望】</p> <ul style="list-style-type: none">• 株式会社MJ• 獨協大学 和田教授(アドバイザー)• 株式会社フォトクリエイト• 吉竹福祉会• 株式会社コドモン• 株式会社NTT西日本• ユニファ株式会社	<p>【参加検討中】</p> <ul style="list-style-type: none">• 株式会社ファーストアセント• NTTデータ経営研究所• 社会福祉法人あけぼの福祉会 なでしこ森のこども園• 株式会社両備システムズ
<p>【参加希望】</p> <ul style="list-style-type: none">• 株式会社MJ• 獨協大学 和田教授(アドバイザー)• 株式会社フォトクリエイト• 吉竹福祉会• 株式会社コドモン• 株式会社NTT西日本• ユニファ株式会社	<p>【参加検討中】</p> <ul style="list-style-type: none">• 株式会社ファーストアセント• NTTデータ経営研究所• 社会福祉法人あけぼの福祉会 なでしこ森のこども園• 株式会社両備システムズ		

スケジュール



2026年

4~5月

6月

7月

8月

9月

参加企業様
向け説明会
4/28

参加表明期限
5/11

理事会承認

最終報告

活動内容

成果物

第0回WG 6/1

ご意見出し

「ポートフォリオ」の実現に当たり、参加企業様のご関心事や検討したい事項を持ち寄り、集団討議（プレスト）し、ユースケースとしてまとめる。

「関心事整理・ユースケース案一覧」

第1回WG

重点分野の選定

関心事・ユースケースをもとに、どの分野を優先的に解決すべきか（重点分野）を議論し、選定する。

「重点分野案」

第2回WG

課題の抽出

ユースケース及び重点分野に対し、何が課題になるかを「制度・技術・業務」の観点で議論し、洗い出す。

「実現に向けた課題リスト」

第3回WG

最終取りまとめ

重点分野と課題について総括する。

第4回WG

次期活動内容決定

次期（第8期）の活動内容を規定する。

「最終報告書」

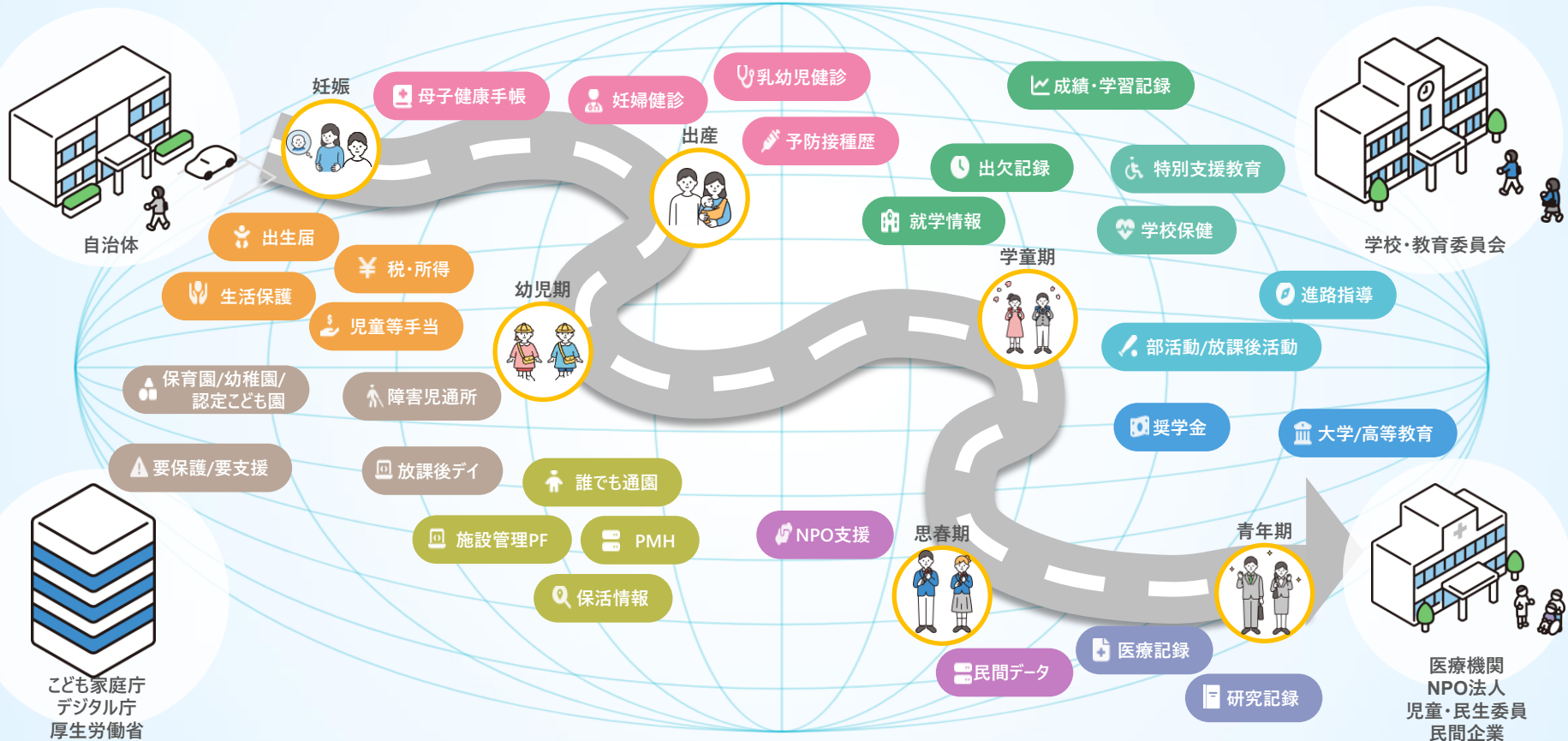
※スケジュール・開催時期については変更となる場合があります。

Appendix.身の回りにあるデータ(例)

凡例: データの種類や格納先



こども・若者・家庭の周りには、たくさんのデータが記録・蓄積されています。



こども家庭庁
デジタル庁
厚生労働省



医療機関
NPO法人
児童・民生委員
民間企業

Appendix.第0回WG案:ユースケース例(イメージ)



As Is

小学校に入学すると、保育園/幼稚園/認定こども園では見えていた「こどもの得意/不得意なこと」が共有されておらず、わかってもらうのに時間がかかってしまう。先生も、こどもに対しすぐに最適な指導ができない。



保育園/幼稚園
/認定こども園



就学情報



園での情報が学校にも共有され、
安心して学校生活をスタートできる



こどもの得意・不得意



こどもの就学・特徴



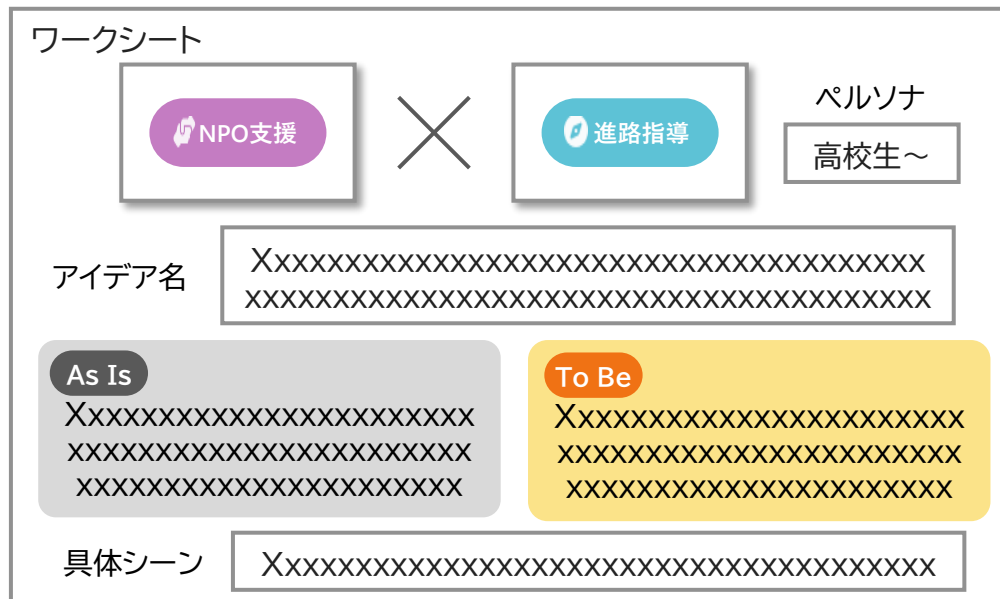
To Be

小学校に入学した初日から、自分の「得意なこと」や「苦手なこと」を先生が理解してくれており、安心して新しい学校生活をスタートできる。

Appendix.第0回WG案:具体設計イメージ



①データを書いたカード(たくさん)とワークシート(一人一枚)を用意



②データを二つ選んでもらい、かけ合わせるとどんなユースケースができるか、どのような未来が描けるかを記入していただき、共有

Appendix.具体設計イメージ



第0回WGについては、以下のようなタイムスケジュール案を想定しています。

開始時間	時間目安	実施内容	担当
13:00～	5分	開会・ご挨拶	弊社
13:05～	20分	WSの目的や流れの説明、グループ分け、アイスブレイク	弊社
13:25～	20分	ワークシートのご説明・シートに対する質問	弊社
13:45～	15分	ワークシートの記入(一人一枚)	分科会メンバー
14:00～	20分	貼りだし共有	分科会メンバー
14:20～	10分	休憩	
14:30～	60分	ワークシートの説明と議論タイム	分科会メンバー・弊社
15:30～	20分	グループごとの見せあい	分科会メンバー・弊社
15:50～	10分	次回告知、その他ご案内	弊社
～16:00	(計3時間)	閉会	